

町指定文化財(彫刻)「鹿島神社本殿彫刻」

かしましんじやほんでんちようこく

指定年月日/昭和四十九年四月二〇日
所在地/城里町高久 管理・所有者/鹿島神社



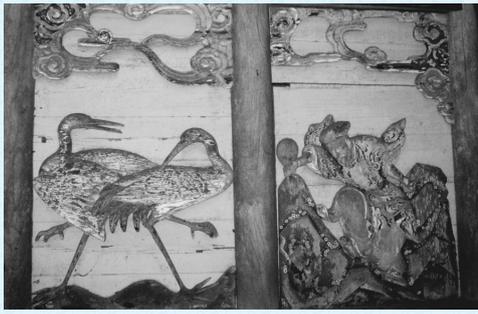
▲鹿島神社本殿

町指定文化財「鹿島神社本殿彫刻」は、先月号で紹介した「悪路王面形彫刻」を有する高久の鹿島神社にあります。

流造の本殿は、屋根下の龍・獅子・象などの霊獣の像によって護られ、右・左・裏側の外面は、「登龍門」、「虎仙人」等の中国の故事や、「双鶴」などのおめでたい図柄の彫刻によって埋め尽くされています。

これらの彫刻の作者や製作年代は明らかではありませんが、元々は吉祥院という寺院のものであったと言われています。

吉祥院は、かつて高久に存在した真言宗のお寺です。徳川齊



▲左：「双鶴の図」、右：「瓢箪から駒の図」



▶「登龍門の図(鯉の滝登り)」

昭による水戸藩領内の寺院の整理政策により、天保一四(一八四三)年に上入野の小松寺に寄寺となり廃されました。

解説文/町文化財保護審議会会長小山映一
問合せ 教育委員会事務局
☎029-1288-3135

俳句

浮雲のゆつくり流れ葱坊主
仲田 まちゑ
大きな葉の陰に隠れて梅雨の蝶
瀬谷 博子
草原に母牛仔牛雲の峰
飯村 昭子
羅を風と一緒に着てひとり
鯉淵 寿美恵
夢に逢ふ亡夫は語らず明易し
今瀬 多代美

遠八溝鮎の久慈川海原へ
綿引 英子
桜散り風にさそわれ夫も散る
袴塚 良子
鉢の位置少し動かし梅雨晴間
森 静江
母校へと増ゆる嬉しさ青董
竹内 幸子
整然と広き農園デイ茶摘
岩下 金司
外山空淡し棟の咲きてより
田口 勝元

川柳

景警の車追ひ越し夏つばめ
寺門 孝子
甘い汁吸った政治家食中り
富田 多蔵
川柳をやってみたい人募集
飯村 孝一
ずばらだと言われた頃がなつかしき
川原 清

文芸しろさと

短歌

凛として木陰に咲けるむらさきのみやこわすれに春の夕暮
大森 久子
わが生の証残さむ針と糸を友とし指の動きゆくまで
青柳 京子
近所より貰ひし桃の花挿すに日毎蕾の膨み咲けり
所 美恵子
熊本の大地震ありて避難せる十一万の苦しみ思ふ
山形 式妙
「ゲートボール」くぐりて良しと思へば付け球ありて難さかみしむ
杉山 みちこ

渡辺

久々に訪ひたる実家は庭木々も古りてひそげく椿散りをり
ウエディングドレス姿の娘の腕をとりて歩みく父ごごちなし
枝 不美
からたちの垣根なつかし学舎に新庁舎建ちて梅雨空に映ゆ
一言を胸にしまいて気のおもし会話に少し気くばり欲しく
坪井 きよ子
力強き羽音残して通り過ぐ雁の一群北へ見送る
萩谷 登喜子
小さな手につかむ未来を思わせ
曾孫その軽さを胸に抱けり
富田 佐智子

